木山捷平全集

第一巻

講談社

木山捷平全集 第一巻

昭和五十三年十月十日 第一刷発行
定価 三八〇〇円

著者 木山捷平
発行者 野間省一
発行所 株式会社 講談社
東京都文京区音羽二―一二―二一
電話東京03九四五―一一一一(大代表)
振替東京八―三九三〇郵便番号一一二

編集 株式会社第一出版センター
印刷 豊国印刷株式会社
製本 島田製本株式会社

© 木山みさを 昭和五十三年
Printed in Japan
落丁・乱丁本はお取り替え致します。

0393-423418-2253 (0) (セ)

木山捷平全集　第一巻　目次

〈全詩篇〉

詩集 野

飯を食ふ音　一五
つるみとんぼ　一五
電信工夫　一五
地球よ廻転を止めろ　一六
ふらふらと　一六
小便袋　一七
失業者の夕暮　一七
犬ころ　一七
ふるさと　一八
かかあ　一八
秋　一八
その女は　一九
泣け泣け赤ん坊　一九
乳では駄目だ　二〇
腰巻　二〇
赤蜻蛉　二一
妙な墓参　二一
をなご　二三
こげた飯　二三
雀よ言ふな　二三
薯糞　二三
平蔵の詩　二三
夜道を三里　二四
一本の添木につかまつて　二四
おしのを呑んだ神戸　二五
裸で　二五
土の中から　二六
俺等のたべるオマンマ　二六
牝牛　二七
馬のゐない厩　二七

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

夫婦泣き泣き鬼ごつこ　二七
雨のもる音　二八
山の昼食　二八
ハラノヘツタモノニ飯ヲ
　タベサセ　二九
牝牛の小便　二九
初卵　三〇
男の子と女の子　三〇
夜刈り　三一
白壁　三二
積つた憤怒　三三
おこよをばさん　三三
月夜の時雨　三四
牛のゐない牛屋　三四
地球たたいて日がくれた　三五
おぢいさんとおばあさん　三五
跋　三六

詩集　メクラとチンバ

大根　三九
大根　三九
二十八の春　四〇
一月一日　四〇
一月三日　四一
二月二十八日　四一
美しき不覚　四一
秋　四二
秋　四二
その下で　四三
話　四四
ある風景　四四
からたちの垣根　四五
赤い着物を着た親子　四五

裏長屋の秋晴　四五
妻と夫との会話　四六
蝶蝶　四六
メクラとチンバ　四七
山　四七
おしのの腰巻　四八
月夜の橋上から　四八
神戸のマッチ工場から帰
つたおしの　四九
秋　五〇
新吉ところの牡牛　五〇
たうもろこしのひげ　五〇
時雨　五一
風呂水　五二
田圃の畔で　五二
オカアの血のにじんだ餅　五三
牛屋　五三
冬眠してゐた蛙　五四
蛙の詩　五四
蟬の詩　五五
蚯蚓の詩　五五
意志　五六
松虫の詩　五六
かかあと奥さん　五七
夕ぐれの町から帰る子供　五七
鞦韆　五八
分の悪い交換　五八
遠景　五八
青草の上で　五九
桃郎　五九
マッチを忘れてゐた　六〇
平気な顔　六〇
道を教へてくれた人　六〇
杉山の松　六一
夕月　六一
池袋で　六一
手と手　六一
柚子　六二
後記　六二

木山捷平詩集

蓼の花　六四
かたつむり　六四
雨あがりの朝　六五
坂道で　六六
雨　六六
自動体量器　六六
午後の一時　六六
のんきもののK　六七
そばの花　六七
釣　六八
冬の魚　六八
せきれい　六八
ポプラの梢　六九
月経　六九
家　七〇
白いシャツ　七〇
ちぎれ雲　七〇
新秋　七一
二位のはま　七一
涙　七一
三月の花　七一
夕餉の支度　七二
琉球庵　七二
秋　七二
昼の夢　七三
蚊遣火　七四
母　七四
途上　七五
うめもどきの日　七五
燕の唄　七五
松の木　七六
死に場所　七七
五十年　七七
辛抱　七七

空洞　七六
妻浦のあかり　七六
暗渠　七六
隅田川　七九
旅吟　八〇
無名画家の火葬　八〇
あとがき　八一

詩篇拾遺

少女花　八三
あひびき　八三
たより　八四
田鶴山　八四
曇り日　八五
市ケ谷監獄共葬墓地　八五
但馬にて　八六
故郷の小川　八六
とんぼ　八七
落葉を焼く煙　八七
若くて死んだ人　八七
幸福な日　八八
なんばんきび　八八
人生　八九
大地変　八九
ほたる　八九
みぞれの話　九〇
火の色　九〇
三月二十日　九一
こぶしの花　九一
猫　九一
妻　九二
死　九二
お地蔵さんの詩　九二

よその奥さん　九三　九四
たんぽぽの花　九四　九四
六十年
オホーツク海の鳥

〈小説〉

うけとり　九九
子におくる手紙　一一三
一昔　一二七
出石城崎　一三四
村の挿話　一五〇
おじいさんの綴方　一六二
掌痕　一八六
尋三の春　一九七
父危篤　二〇九

抑制の日　二二七
歯痛の日　二二三
現実図絵　二二五
智者仁者　二二五
定期乗車券　二九四

〈随筆〉

1

小松川雑記　三〇七
秋から冬へ　三〇九
おしのに送る手紙　三一二
野長瀬正夫君と私　三一七
三月となるの記　三二〇

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

Ⅱ
歴史的に見た雨　三三
何でもない詩論　三二七
彼の「そして」と僕の「そして」　三三一
日記　昭和七年〜十四年　三三五
あとがき　木山みさを　三九五

題字　蓬　萊　利　兼
装幀　アトリエ・セブン

木山捷平全集　第一巻

全詩篇

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com